

6	学校マネジメント
テーマ	「次世代の学校」を実現するための協働体制
基調	<p>グローバル化や高度情報化、少子高齢化等による急激な社会の変化に伴い、子供や家庭、地域社会も変容し、教育諸課題はますます、複雑化・多様化・困難化している。これらの状況に適切に対応し、子供たちにこれからの時代に必要な資質・能力を育成するためには、学校のみならず、社会総掛かりで教育に当たらなければならない。そこで平成28年1月、文部科学省は「次世代の学校・地域」創生プランを策定し、「社会に開かれた教育課程」の実現や学校の指導體制の質・量両面での充実、「地域とともにある学校」への転換という方向を目指して取組を進めるとした。</p> <p>「次世代の学校」を実現するためには、校長のリーダーシップの下、個々の教職員が資質・能力の向上を図ったり、業務改善に取り組んだりする中で、職種の専門性を十分に発揮し、組織として教育活動に取り組む機能的な体制を作りあげ、学校マネジメント機能を強化していくことが必要である。併せて、より困難度を増している生徒指導上の課題等に対応したり、子供たちの安全を守ったりするため、学校が専門スタッフや関係諸機関と連携・協働する体制を整備することで、「チーム学校」を実現していかなければならない。また、地域と一体となって子供たちを育むため、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域住民や保護者等との連携・協働を一層推進することで、教育活動の充実や、危機管理体制の構築を行わなければならない。</p> <p>前回大会（山口大会）では、学校運営方針を明確にすることで、教職員の合意形成が推進され、地域と連携するための基盤が構築されたことや、コミュニティ・スクールを推進するための学校事務職員の関わりの重要性について確認することができた。一方で、学校・家庭・地域が共に利益となるような協働体制の構築や、限られた時間や予算の中での地域との連携等における取組の継続方法についての課題が挙げられた。</p> <p>本分科会では、山口大会に引き続き、学校の教育力・組織力を向上させる組織運営の在り方や、学校と家庭、地域、関係諸機関等との組織的・継続的な連携・協働の在り方等について協議する。そして、高い志をもち、主体的・協働的に学ぶ子供を育成するための基盤となる「次世代の学校」を実現するための協働体制の構築について提言していく。</p>
研究の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校の組織運営の在り方 <ol style="list-style-type: none"> ① リーダーシップが図られた組織的・機能的な学校運営 ② 学校事務体制の強化 ③ 専門スタッフと連携・協働する体制の整備 ④ 業務改善の取組 ⑤ 段階的職能研修の充実 2 学校と家庭、地域、関係諸機関との連携・協働の在り方 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域住民や保護者等との連携・協働 ② 児童相談所や警察等、関係諸機関等との組織的・継続的な連携 ③ 子供たちの安全を確保する危機管理体制の構築